

## パキスタン：人権活動家が強制失踪か



©Talia Khattak

と共に連れ去られました。運転手は2日後に解放されましたが、ハタックさんは、その後も拘束が続いている模様で、消息がつかめません。

ハタックさんは長年、ハイバル・パフトゥンハー州など人権侵害が多いとされる地域での人権問題を調べ、公表する活動をしてきました。アムネスティなどと活動することもありました。ハタックさんの拉致は、そんな活動を快く思わない当局による「強制失踪」ではないかと見られています。

パキスタンでは、軍への批判を封じる手段として、秘密裏に自由を奪い、拘禁する「強制失踪」が頻発しています。その対象となるのが、反政府少数民族や反政府武装集団、そして人権擁護活動家です。強制失踪調査委員会によれば、昨年6月末時点で未解決の強制失踪事件は2,141件でした。

所在も安否も分からない強制失踪ほど、家族や関係者にとってむごい仕打ちはありません。さらに、ハタックさんには糖尿病の持病があり、新型コロナに感染すれば重篤化するおそれがあります。また、暴力や拷問を受けているおそれもあります。

### ■支援してください

ハタックさんの居場所と安否を家族に知らせるよう当局に働きかけてください。[こちらのウェブサイト](#)または、インターネットで「アムネスティ イドリス・ハタック」と検索して最初に表示されるウェブサイトの「要請文」をご利用ください。

ぜひ、皆様のご支援をお願いします。

## 中国：親への送金で収監されたウイグル人女性



© private

新疆ウイグル自治区に住むウイグル人のマヒラ・ヤクブさんは、オーストラリアに住む両親への送金がテロ活動支援にあたるとして昨年5月に逮捕され、今年1月に起訴されました。

オーストラリア在住の妹によると、送金は、

両親の自宅購入を支援するためだったといいます。両親の兄弟も同様の容疑で起訴されています。

マヒラ・ヤクブさんと連絡が取れなくなった妹は、オーストラリアの関係当局に助けを求めたところ、キャンベラの中国大使館を通じて、姉はテロリストへの資金援助の容疑に問われていることがわかったのです。

マヒラ・ヤクブさんは現在、新疆ウイグル自治区イリ・カザフ自治州にある勾留施設に入れられています。妹が面会することも認められず、当局の報復を恐れて成り手がいないためか、弁護人も付いていません。

両親は、中国当局からテロリストとみなされてきたようですが、オーストラリア当局の取り調べを受けたことはなく、2度の帰国時も問題なく入出国できたといいます。中国当局によると、マヒラ・ヤクブさんは、過激思想を啓蒙する写真も所持していたとのことですが、妹によると、その写真は、ヘッドスカーフを被った姉と母と一緒に撮ったときのものだろうとのことでした。

### ■支援してください

担当の検察院にマヒラ・ヤクブさんの容疑取り消しと釈放を求めてください。[こちらのウェブサイト](#)または、インターネットで「アムネスティ マヒラ・ヤクブ」と検索して最初に表示されるウェブサイトの「要請文」をご利用ください。

ぜひ、皆様のご支援をお願いします。

## ミャンマー：元子ども兵士の支援者が早期釈放されました



「社会の害となる発言」と「暴動を引き起こす挑発行為」の罪で昨年12月、1年から1年半の刑を受け、収監されていた3人の人権活動家が刑期を短縮され、4月中旬に釈放されました。

3人は、ネイザートウンさん(女性)、キンチョーナインさん(女性)、ミンゾーさん(男性)。ネイザートウンさんの弟は、無理やり子ども兵士にさせられたかつての経験をメディアに語ったことが、「社会に恐怖を与えた」などの罪に問われ、実刑判決を受けて服役しました。

この当局の対応に反発した3人は仲間とともに昨年5月、判決を下した裁判所の前に集まり、不当な判決に抗議したのです。この抗議と裁判長批判が、「社会の害」や「暴動挑発」とみなされました。ここでも表現の自由の権利が抑圧されたのです。

およそ5カ月後、3人は、「品行方正」というよく使われる理由で刑期を短縮され、半年以上早く釈放されました。しかし、表現の自由を行使しただけで有罪となり、投獄された事実は消えるわけではありません。

キンチョーナインさんの母親のレイレイさんが、アムネスティに感謝のメッセージを送ってくれました。

「娘や仲間の釈放に向けて当局に働きかけてくださったアムネスティの皆さんに感謝します。当局に手紙を書いてくださった皆さん、ありがとうございます。いつか、皆さんに直接お会いしてお礼を申し上げたいです」

## 台湾：蔡英文総統に死刑囚の恩赦の嘆願書

アムネスティ台湾支部は5月21日、台湾の蔡英文総統に、死刑囚、邱和順さんを恩赦で釈放するよう求める嘆願書を送りました。嘆願書には、41,500筆を超える署名が添えられていました。



嘆願書を提出した台湾支部の人たち

邱和順さんは31年間、死刑囚として拘禁されてきました。犯行を裏付ける物的証拠は何一つなく、唯一証拠となった自白は、拷問により強要されたことがわかっています。時の経過の中で、法的救済手段はほぼ尽きてしまい、後は、死刑判決が覆るのを待つしかありません。

嘆願書を提出してから1カ月、蔡英文総統からの回答はまだ届いていません。そこで今回は蔡英文総統にTwitterで訴えることにします。

多数のツイートで邱和順さんの恩赦を求めましょう。ツイート例を挙げておきます。

President @iingwen, please pardon one of the longest-serving persons on death row in #Taiwan, #ChiouHoShunafter #31years in despair #abolishDeathPenalty

ぜひ、皆さんも参加してください。

### UA ニュース

発行:アムネスティ・インターナショナル日本  
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル7F  
TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778  
E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp  
UA年会費 3000円  
郵便振替 00120-9-133251  
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本